

(1) もの忘れ検診

別紙：R7実績報告

1. 対象者

◎令和7年度中に55歳・60歳・65歳・70歳・75歳を迎える区民

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R7	3,571	2,990	2,133	1,782	1,909	12,385
R6 (参考)	3,430	2,935	2,190	1,838	2,170	12,563

2. 時期

対象者（約13,000名）へ案内を郵送：6月20日（金）

受診期間：6月23日（月）から9月30日（火）まで

3. 内容

1の対象者に個別に案内を郵送する。認知機能デジタル測定ツール「のうKNOW」等によるセルフチェックを行い、認知機能に不安のある方等は、一定の期間内に自身で指定医療機関を予約し受診する。

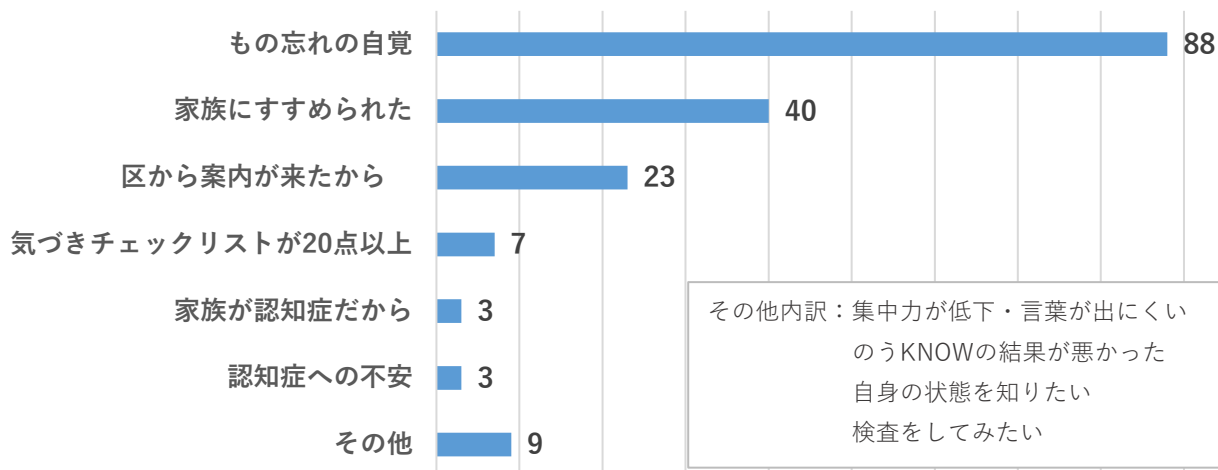
4. のうKNOW実施者

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R7※12月末時点	339	263	173	148	99	1,022
参考)記憶力B・C判定	25	23	14	16	11	89

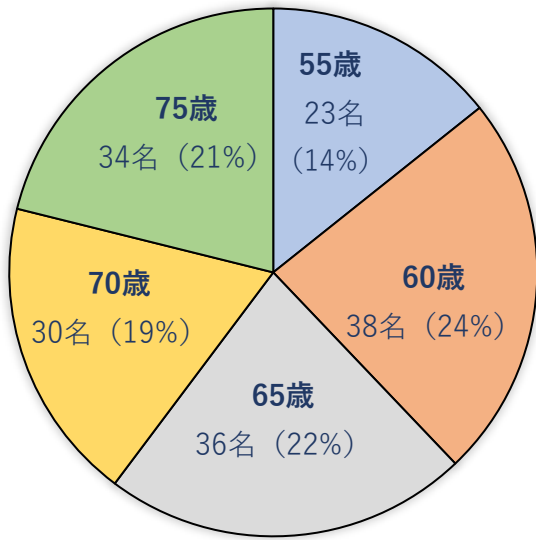
5. 検診医療機関受診者

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R7	23	38	36	30	34	161
()は対前年増減率	(▲17.9%)	(▲17.4%)	(+2.9%)	(▲25.0%)	(▲47.7%)	(▲24.8%)
認知機能低下疑い	1	5	3	2	4	15
要精査率(%)	4.3%	13.2%	8.3%	6.7%	11.8%	9.3%
R6 (参考)	28	46	35	40	65	214

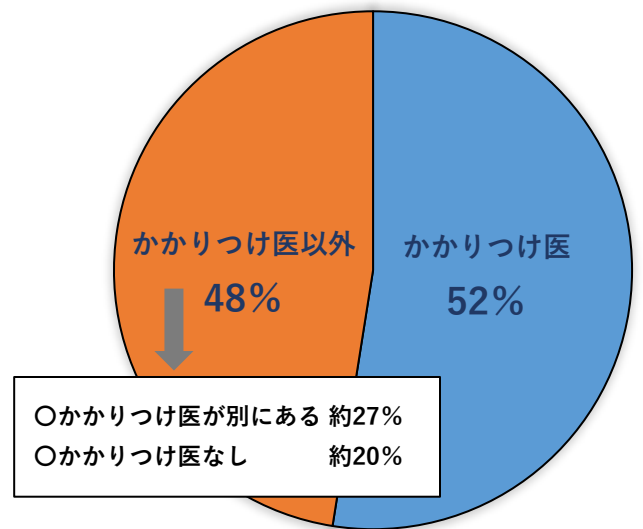
検診受診理由（複数回答あり）



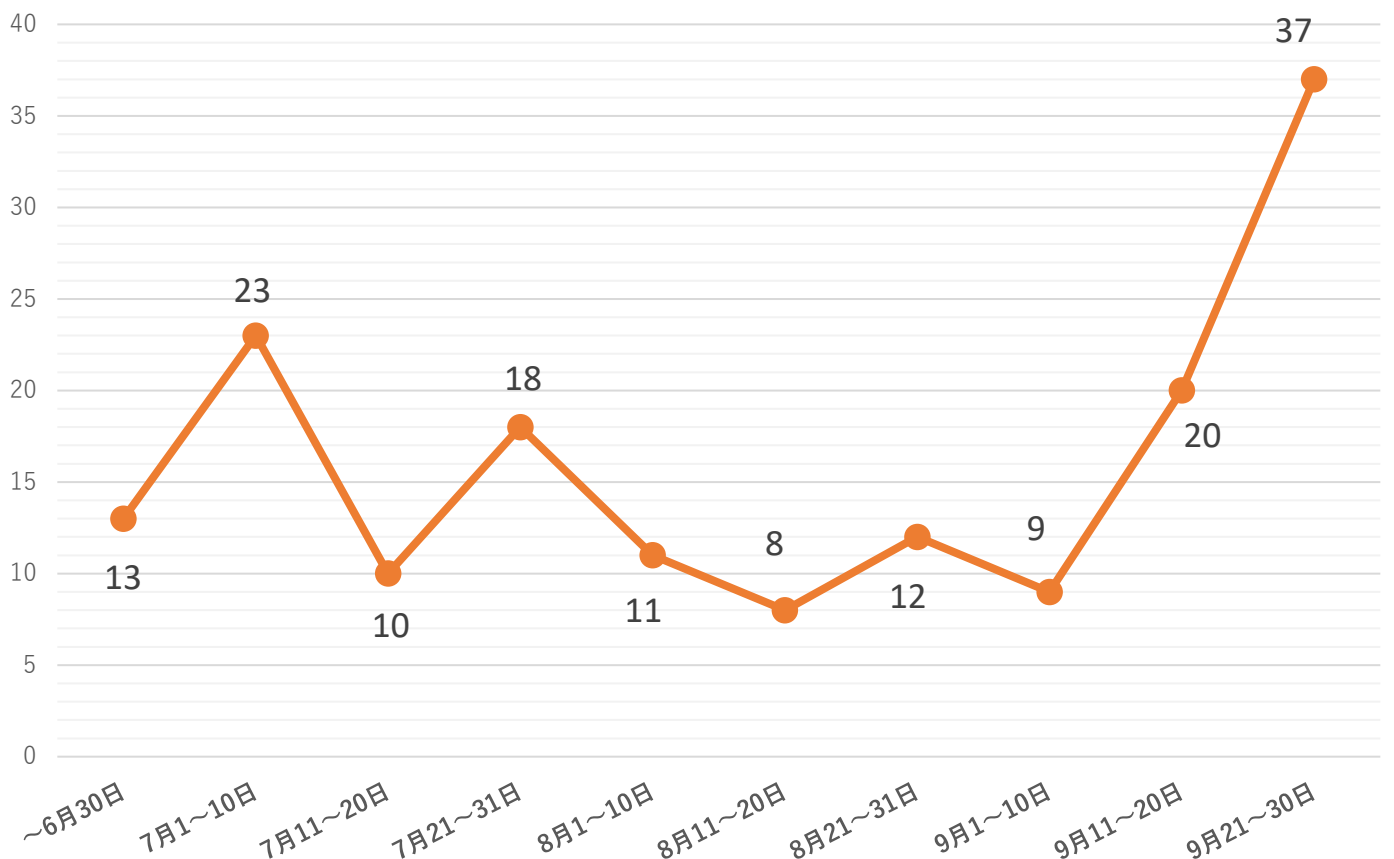
検診受診者 年齢割合内訳



検診受診者 受診先



受診者数の経日変化



まとめ

- 50・60代はのうKNOW実施率が高く、自身の不安から受診に繋がる傾向がある。
- 70代はのうKNOW実施率が低く、検診受診者も昨年度から減少している。家族や周囲に勧められて受診する方が多い傾向がある。
- 受診者の約半数が、かかりつけ医で受診している。
- 受診が検診終了間際に集中し、真夏は受診者が減少する傾向がある。

4. 要医療者（認知機能低下疑いあり）の専門医療機関受診状況

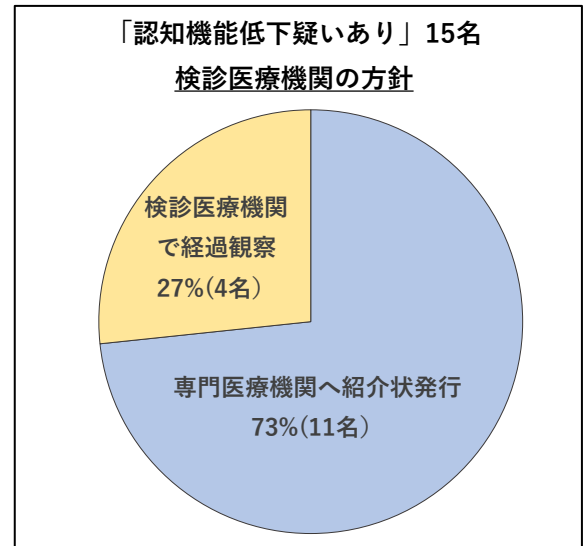
まとめ

○認知機能低下疑いと判断された15名中、11名が専門医療機関を紹介された。

○紹介状発行者11名のうち、**少なくとも8名（約73%）の受診者が専門医療機関への受診に繋がった。**

※未受診者は高齢者あんしん相談センターからアプローチ予定。

○検診を通して、**軽度認知障害3名の診断**に繋がりと、レカネマブの治療勧奨となった方もいた。



5. 受診者アンケート結果（回答者：85名、回答率：52.8%）

受診者の声（アンケートより一部抜粋）

< 検診後の不安・疑問の解消について >

- ・医師のアドバイスを聞き、漠然とした不安が解消された。
- ・一人で考えてもダメなことがわかった。また相談したい。
- ・点数や結果を聞いて、思い込みすぎなくてよいと分かった。

< 医療機関への相談について >

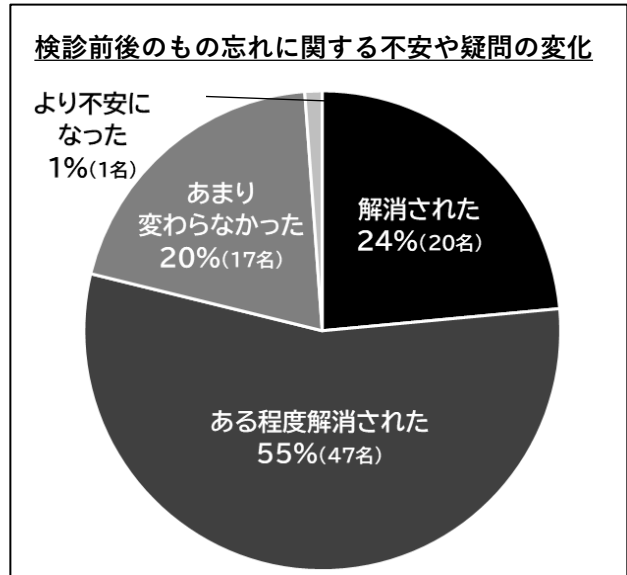
- ・かかりつけ医に「認知症」についても相談できるんだとわかり、ありがたかった。
- ・病院や先生と繋がるきっかけになり感謝している。

< 今後の生活について >

- ・今後も社会との結びつきを大切にしていきたいと思った。
- ・食習慣や運動など生活習慣を見直すきっかけになった。
- ・ヨガなど新しいことに取り組んだり、睡眠やストレスの管理を意識するようになった。
- ・家族や周囲と物忘れや認知症について話すようになった。
- ・受診して安心したけれど、維持するにはどうしたらいいのかわからない。

< 文京区の検診制度について >

- ・自分の健康を見つめ直す良い機会になった。費用を気にせず気軽な相談・受診ができた。
- ・定期的に検診受診できる環境があると安心。見守ってもらえている感じがした。
- ・単身で今後不安が増えていくと思うが、相談や受診の道をつける一歩になった。
- ・5年ではなく、隔年受診など、定期的に検診を受けて脳の健康をみてもらいたい。
- ・一人暮らしのため、自分で気づけなくなった時に、誰が気づいてくれるのか心配。



(2) 脳の健康度セルフチェック

1. 対象者

◎令和7年度中に56～59歳、61～64歳、66～69歳、71～74歳を迎える区民のうち希望する方

内訳	56～59歳	61～64歳	66～69歳	71～74歳	合計
R7	12,807	10,529	7,989	7,109	38,434

2. 時期

申込受付期間：6月23日（月）から8月29日（金）まで

3. 内容

定期的に脳の健康に関心を持つ機会を提供するため、「のうKNOW」等によるセルフチェックの機会を提供する。

区報等で周知を実施し、電話または電子申請で受付後、セルフチェックに必要な資料を郵送。

4. 申込者

内訳	56～59歳	61～64歳	66～69歳	71～74歳	合計
R7	71	52	46	48	217

5. のうKNOW実施者

内訳	56～59歳	61～64歳	66～69歳	71～74歳	合計
R7※12月末時点	35	25	26	25	111
参考)記憶力B・C判定	2	1	3	2	8

(3) 文の京あたまとからだの健康フェア

1. 対象者

(1)もの忘れ検診 および (2)脳の健康セルフチェックの対象者

2. 内容

認知症に関する普及啓発及び「脳の健康に良い生活ポイント」等を伝えるイベントを実施する。

(主な企画内容)

- 認知症や脳の健康を維持するための生活習慣に関する啓発パネル・映像投影
- 専門職によるミニ講座・健康状態を把握する測定コーナー
- 認知症のある方の手紙・パネル展示
- 認知症に関する知識の定着に役立つクイズ
- デジタルツールのうKNOW測定サポートコーナー（自宅でも実施出来ない方向け）

3. 実施状況

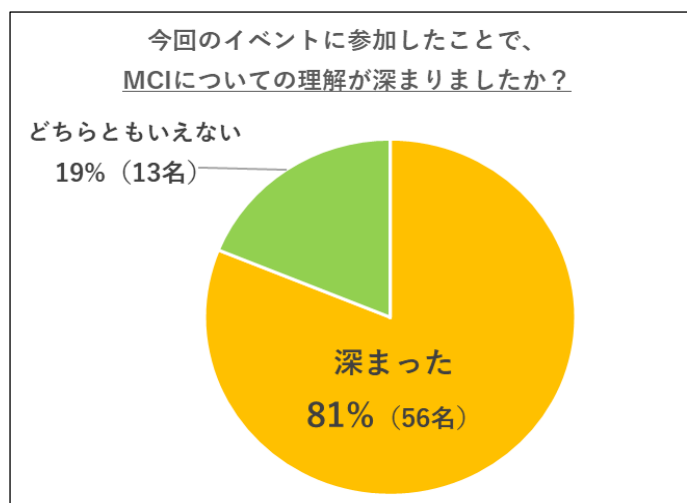
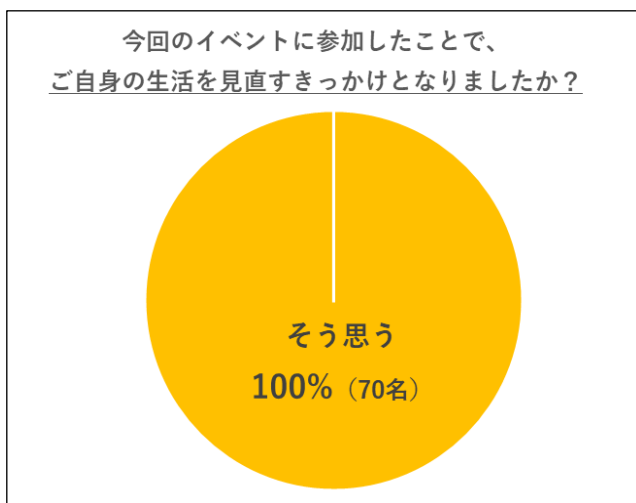
①第1回 7月17日（木）開催 参加者数：48名（うち本事業の対象者数：8名）

②第2回 9月9日（火）開催 参加者数：74名（うち本事業の対象者数：9名）

※ 第1回と第2回は同内容で実施



4. アンケート結果（回答者：70名 回答率：57.4%）



【参加者の声】

- ・今から始めるのがいちばんだと思いました。毎年参加したいです！
- ・知っていることでも、復習をすることで自分のものにしていきたい。
- ・数値の変化も見ると、自分への理解が深まり安心します。
- ・自分の足りない所がわかった。最近の食事の偏りを反省。
- ・今回参加したことで元気をとりもどせそうな気になってきました。
- ・正しい知識を増やすことで、予防のための対策をたてられた。